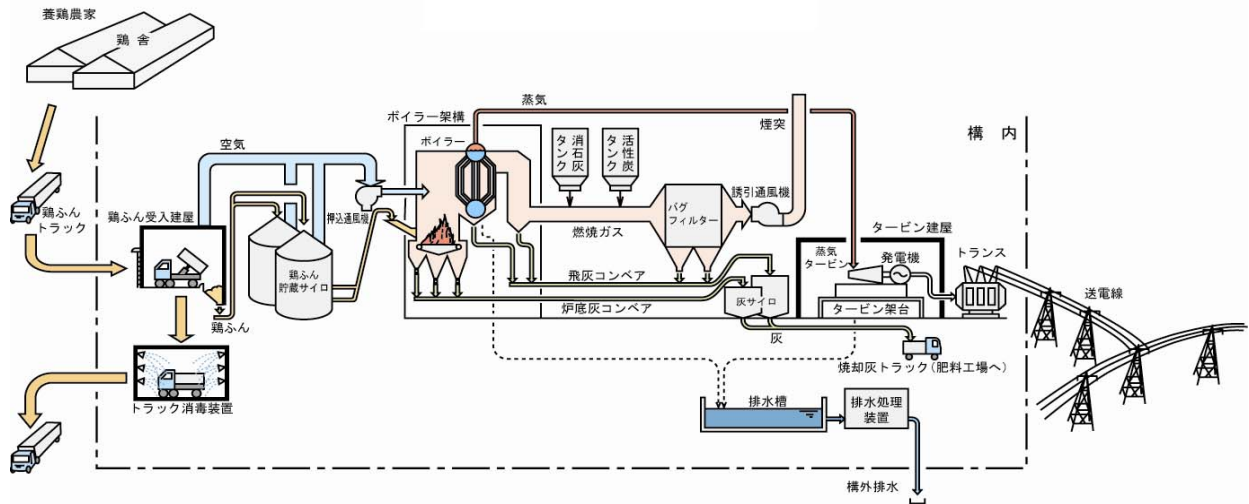



所在	宮崎県児湯郡川南町大字川南4621-1	事業主体	みやざきバイオマスリサイクル(株)
問い合わせ先	総務部:0983-27-6810	見学	総務部:0983-27-6810 ただし、業務都合等によりお断りすることがあります。
施設名	みやざきバイオマスリサイクル発電所(電気事業法による火力発電所)	運転開始年	2005年
出資比率	西日本環境エネルギー(株) 42% 養鶏農家(3組合・法人) 54% プロイラー会社等 4%	原料	プロイラー鶏糞(一部、種鶏糞(1%以下)を含む)
利用法	発電(売電あり) 焼却灰は肥料原料として販売	原料調達費	有償(発電所燃料として購入)

システムフロー  
(フロー図)



<p>システムフロー (施設前景)</p>	
<p>施設仕様</p>	<p>設備形式: 鶏糞の直接焼却による発電  設備規模: 鶏糞焼却量132,000t/年(440t/日)  発電出力: 11,350kW(発電端)、約9,000kW(送電端)  ①鶏糞ボイラー: 自然循環ドラム型ボイラー(ストーカ炉)、蒸気量55t/h  ②蒸気タービン: 横型衝動抽気復水タービン、出力11,700kW  ③鶏糞貯蔵サイロ: 容量2,500m<sup>3</sup>×2基</p>
<p>運転状況</p>	<p>①バイオマス受入: 鶏糞131,081t/年(平成20年度実績)、通常運転時は鶏糞のみで  燃焼(バイオマス比率100%)、起動時はA重油でボイラー加熱、ボイラー加温後、  鶏糞専焼で発電開始  ②原料調達費: 発電燃料として宮崎県内のブロイラー会社系列養鶏農家から有償で購入  ③熱利用: なし  ④発電: 発電量74,943MWh(平成20年度実績)、所内動力(約13~15%程度)を  差し引いた全量を九州電力(株)に売電  ⑤処理済バイオマス: 焼却灰販売量14,111t(平成20年度実績)、肥料原料として  全量を契約取引先へ販売</p>
<p>コスト (イニシャルコスト)</p>	<p>総建設費: 49.6億円(設計費、土地購入・造成費、構内整備、緑化費用等を含む)  国庫補助金11.9億円、県補助金1.5億円、その他は自己資金及び借入金</p>
<p>コスト (ランニングコスト)</p>	<p>平成20年度(運用開始後4年目): 単年度黒字化達成  人件費: 設備運転、日常整備、鶏糞受入・焼却灰払出は業務委託  減価償却費及び支払利息、公租公課の費用に占める割合は約37%(平成20年度実績)  定期修繕工事(設備の開放点検・修繕)を年1回実施</p>
<p>事業開始の背景</p>	<p>環境対策、鶏糞(バイオマス資源)の有効利用</p>
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶏糞の大量焼却による減量化(約1/10)と焼却灰の肥料原料化による資源循環</li> <li>・環境負荷の低減(臭い、土壌・地下水への環境影響)</li> <li>・農家個別の設備投資軽減及び排泄物処理にかかる精神的負担の軽減による畜産業の安定的成長</li> <li>・鶏糞の焼却熱による発電で、石油・石炭などの化石燃料の焚き減らしができ、化石燃料の温存化とCO<sub>2</sub>削減効果による地球温暖化防止への貢献</li> </ul>
<p>施設運営上の課題</p>	<p>・冬季の鶏糞中含水率高に対する含水率低減対策</p>